

山室地区

(富山県富山市)

- 計 画 期 間 平成 17 年度～平成 21 年度
- 面 積 231ha
- 交付対象事業費 2,142 百万円
- 市人口 410,214 人

ポイント

人にやさしく、いつまでも住みたく
なる「自然と調和した快適なまちを
目指した整備事業」

目 標

安全で快適な住宅地を形成し、人にやさしく、「やすらぎ」「うるおい」「憩い」を満喫できる環境を整えた、いつまでも住みたくなる「自然と調和した快適なまち」を目指す。

指 標

道路・公園整備及び地域づくり
ふれあい事業をすることにより、
整備後に世帯数の増加及び地域活
動が活発化される相乗効果を目標
とした。

項 目	従前値	(年)	→	目標値	(年)
新規住宅累積着工 件数	78 棟	(H15)	→	158 棟	(H21)
体育施設利用者数	54,760 人/年	(H15)	→	57,498 人/年	(H21)
公園愛護ボランティア 団体数	12 団体	(H15)	→	14 団体	(H21)

地区概要

広域的観点から、都心に近接するこの地区を整備することにより利便性の高い住宅地が形成され、都心部における人口流出を食い止め、さらには人口還流が促進され、都心部の賑わいの再生に繋がる。

事業内容

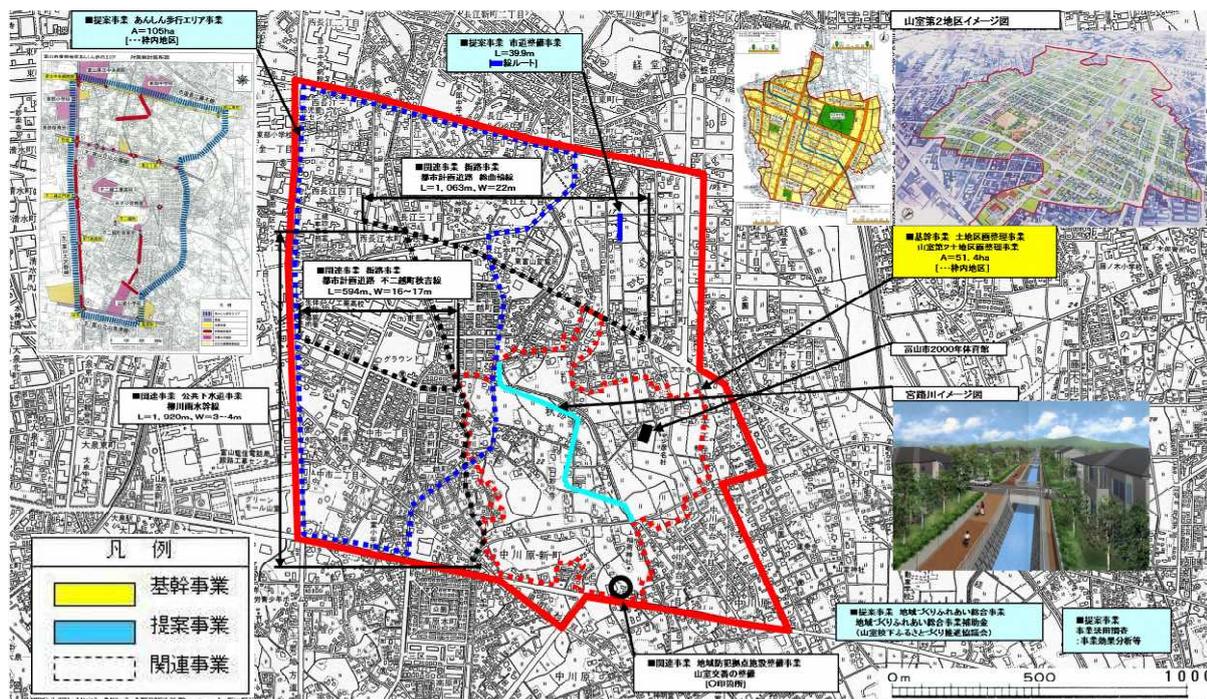
基幹事業 (2,126 百万円) → 区画整理事業 (51.4 ha)

提案事業 (16 百万円) → あんしん歩行エリア事業 (交差点拡幅 1 箇所)

市道整備事業 (幅員 6m、延長 39.9m)

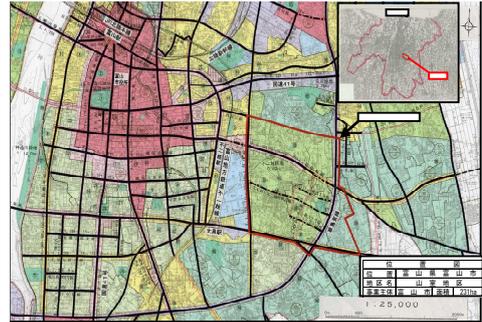
事後効果分析

地域づくりふれあい総合事業 (文化祭、講演会、演劇・音楽鑑賞会等)



地区の現況と課題

本地区の大部分は、住居専用地域に用途指定され近隣住宅地として位置づけられている。しかし交通の利便性が悪くスブロール化が進んでいる。このため、幹線道路の整備を図り、良好な住宅供給と均衡ある市街地形成を図る必要がある。



▲山室地区の位置

提案事業の特徴

市道整備事業

近年増大する交通需要を、山室第2土地区画整理事業と並行し、安全かつ効率的に処理する。

地域づくりふれあい総合事業

系統的・継続的な学習の場を提供することによって、学習意欲の促進や生きがいの充実を図ることで、地域住民間の連帯意識育成と教育力向上を目指す。



▲あんしん歩行エリア事業箇所

計画策定プロセス

市道整備事業施工箇所の選定

当箇所は、一部未改良のため交通の利便性が悪く、地元から早期整備要望も出ており、改良が急務である。このため計画的に拡幅や安全施設の設置を行う。

区画整理事業との連携

交通の安全面だけではなく、地域の交流の場である富山市2000年体育館や、街区公園へのアクセスの向上も図るため、区画整理事業と連携しながら整備をする。



▲山室第2土地区画整理事業
施行地区

緑のまちづくり

住民の緑化に対する意識が強いため、緑を多く取り入れた公園整備や街路樹を設けるなどの要望が強く、地元住民による緑のまちづくりを展開するための緑空間を確保できるよう、整備計画を検討した。



▲秋吉公園